

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		授業コード	L120563
担当教員名	菅 雅幸		科目ナンバリングコード	L31205
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	全コース 選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	特にありません。			
受講心得	何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。			
教科書	指定なし			
参考文献及び指定図書	適宜指示します。			
関連科目	専門分野に関連する全科目			

授業の目的	<p>2006年から参加を初めて、毎年参加している、JIA建築展「日韓学生ワークショップ」に参加して作品の製作・発表を行ってまいります。</p> <p>日韓学生ワークショップとは、毎年、JIA建築家協会九州支部が行っているもので、福岡の大学を中心に、本学、韓国の大学の学生が、講師の方から与えられた課題の作品を作り、発表を行い、他大学の学生らと競い合うワークショップです。講師は毎回、建築家協会新人賞を受賞した建築家に指導審査(クリティーク)をしていただくので、とても貴重な経験となります。また、ワークショップに参加することで、他大学の学生と交流し、競い合うため、授業では体験できない経験ができます。</p>
授業の概要	日韓共同ワークショップのための課題製作と発表、その反省を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： ワークショップへの参加、課題のレクチャー 新人賞を受賞された建築家の方々のセミナーが行われ、その後、日韓学生ワークショップの課題についての詳細な説明と質疑応答が行われます。	
第2週： 課題製作 課題の制作を行います。	
第3週： 課題製作 課題の制作を行います。	
第4週： プレワークショップ 中間発表、レクチャー 途中経過を発表するプレワークショップに参加します。中間発表にて質疑を行い、講師の方からはレクチャーをしていただき、作品の見直しを行います。	
第5週： (5回目～8回目)課題製作 プレワークショップの結果を基に、作品の製作を行う。	
第6週： (9回目～12回目)ワークショップ 1日目 レクチャー・作品の修正 ワークショップ1日目に講師に作品を説明し、質疑応答を行います。レクチャーを受け、翌日の発表までに、作品の修正と発表の準備を行います。	
第7週： (13回目)ワークショップ 2日目 発表 ワークショップ2日目、発表を行います。当日に、投票が行われ賞が発表されます。作品はしばらくの間、展示されます。	
第8週： (14回目)発表の反省および、作品修正	

ワークショップの反省を行い、作品の修正を行います。		
第9週：(15回目)作品完成		
作品の修正を完成させて提出してもらいます。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	他大学との対抗戦となるためいやがうえにも競争心がつきます。
【知識・理解】	対象地が北九州市内となるため「アウェイ」(敵地)なので、敷地について良く知ることとなります。
【技能・表現・コミュニケーション】	作品を分かりやすく発表するプレゼンテーション能力。
【思考・判断・創造】	自分達の関連のあるものとして結びつける。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チーム」		10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	課題作成への出席、完成にて評価します。
発表・その他(無形成果)	課題発表への積極的な参加、質問などを評価します。